

研究評価に関するサンフランシスコ宣言（DORA）署名について

2024年10月

日本応用糖質科学会

会長 天野良彦

本学会では、2024年9月25日に開催された評議委員会において研究評価に関するサンフランシスコ宣言「San Francisco Declaration on Research Assessment (DORA)」への署名について審議・承認され、同年10月4日付にて署名を行いました。

DORAは、2012年にサンフランシスコで開催された米国細胞生物学会において採択された研究評価のあり方に関する提言で、個別の研究者の評価において雑誌ベースの数量的指標を用いないことを求めています。インパクトファクターをはじめとする数量的指標の限界が指摘されています。研究評価には、出版物以外の成果も含めて、各成果の価値とインパクトを検討し、質的指標を含む幅広い評価基準を考慮すべき、としています。今回、学会としてDORAの宣言に署名することといたしました。本学会には、学術ベースの研究から製品化の研究まで幅広い研究が含まれており、固有の成果を評価し、出版物以外の各研究成果の評価にも重きを置く価値を有していた文化がありました。本学会は、DORAの署名機関として、多様な指標による幅広い研究評価を引き続き推進していきます。

【参考情報】

研究評価に関するサンフランシスコ宣言の全文（日本語）

<https://sfdora.org/read/read-the-declaration-japanese/>

DORA 日本の署名機関

https://sfdora.org/signers/?_organization_country=japan&signer_type=organisation

研究評価における定量的指標の責任ある使用に関する指針（日本語訳）（note）

https://note.com/jaas_reiwig/n/n68e567de021b